

質 問 順 位	1 4	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
1. 税務行政	1. コンビニエンスストア収納代行の進め方について	1. 市税等の納付は、徴税吏員と金融機関に限っていたが、来年4月からコンビニエンスストアでできるように準備を始めたことが、8月30日13時30分過ぎに総務文教常任委員会への報告で初めてわかった。2011年には日本共産党が予算審査特別委員会で検討を求める質疑をしたことは承知しているが、多くの議員が求めたものではない。同日9時から収納代行業者の公募を開始したことは、市民と議会軽視ではないのか。		
	2. 導入効果について	1. 利用見込みについて、市道民税、固定資産税、国保税、軽自動車税、保育料など47,800件・期を見込んでいるが、総額及び1件当たりの平均収納額試算を伺います。		
		2. 費用対効果について、「コンビニ納付」により新たに約310万円の経費を見込んでいるが、金融機関への振込手数料はどの程度減るのか。また、徴税吏員による直接収納、データ化による消込作業や督促業務減により職員の業務は、人件費にしてどの程度減るのか。		
	3. 問題点の検討経過について	1. 「交通費がかからなくなる」「休日・深夜などいつでも納付できる」など、歓迎する市民は多いと考える。しかし、道内では札幌・函館など16市が導入済みの一方、旭川、北見など18市は未実施です。問題点などの検討経過について伺います。		

質 問 順 位	1 4	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	4. 口座振替が低い要因について	1. 2011年度実績で、固定資産税・都市計画税39.3%、国民健康保険税37.5%は一定の率に達しているが、市民税14.4%、軽自動車税22%は低い。口座振替率を高めることが、市民の利便性にとっても、市の経費にとっても最良だが、この程度にとどまっている要因と向上策について伺います。		
	5. コンビニエンスストアの厳しい現実と増え続けるコンビニエンスストアの収納代行金額についての問題意識について	1. 買い物・ATMなど地域にとってコンビニは重要な役割を果たしている。一方、厳しい現実もある。強盗発生件数は、道内だけで2004年から7年間の平均で年間 43 件です。深夜から早朝に店員が1、2名のところが狙われている。道警のホームページでは「情報提供のお願い」として、19人の未解決強盗犯の全身写真が公開されている。店内では何か所も 24 時間ビデオ撮影され、犯行全体が撮影されているにもかかわらず検挙率は66.7%程度。労働条件では、オーナーの家族以外は社会保険のないアルバイトが通常で、未成年も多く、深夜の女性勤務も多い。このような実態の中、収納代行範囲は広がる一方で、電気・ガス・電話からはじまり、インターネットや通信販売の決済、国民年金保険料、国税は5年前から所得税の予定納税、加算税と督促について行われ、道税では自動車税が4年前から行われている。自動車保険など損害保険の一括払いでも急増している。取り扱い金額については、1件当たり 30 万円未満という歯止めしかなく、店舗の取扱い金額が急増している。警備保安体制が金融機関に比べ劣るコンビニエンスストアの取扱い金額が増え続けることについて、問題意識を持って収納代行に踏み切ったのか。		

質 問 順 位	1 4	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
2. 公営住宅行政	1. 浴室未設置市営住宅の建替促進について	1. 市公営住宅ストック活用計画を策定中だが、優先すべきは、浴室未設置住宅を解消すること。現計画では、緑町団地84戸、東団地76戸は2022年度までに建て替えると記載されている。しかし、開西団地146戸と江南団地の110戸中の48戸については今年度計画が決まる。これまでの延長線上で20年後の浴室未設置住宅解消は問題ではないか。		
		2. 今後、浴室未設置の約350戸建て替えに50億円以上かかるが、これまでの計画を短縮して10年後までに建て替えるとすれば、補助率45%、20年償還とすると、20年で建て替えるのに比べ、私の試算では毎年7,000万円ほど起債償還が増える。しかし、建て替えによる家賃収入の増加は、1戸当たり平均1万5,000円として3,000万円ほど見込まれ、さらに公共事業前倒し実施での経済効果による市税収入増加、修繕費減少、福祉除雪予算減少、共同浴場補助金減少などを考慮すれば現実的な提案と考えるがいかがか。		
	2. 道営啓南・滝の川団地建替方針について	1. 29日の経済建設常任委員会に、道営啓南団地143戸と滝の川団地32戸を募集停止し、建替計画策定に入るという道の方針が示された。1976年から84年に建てられたもので浴室付きだが、「4階建てだがエレベーターがない」という理由。滝川市は道より30年ほど遅れていると言わざるを得ないが、道から何を学ぶのか。		
	3. 公営住宅管理人について	1. 市営住宅管理人の職務は市営住宅条例施行規則で定めている。まず、「常に市営住宅を巡回調査し問題があれば直ちに市に報告し指示を受ける」というもので、①同居親族以外の者と同居している②退去検査の届け出をしていない③修繕を要する破損がある場合などとしている。(1) 管理人の人数 (2) 各管理人は職務について認識しているか、実行しているか、また、市は実行を把握しているか (3) 年間に職務に基づく報告は何件程度あるのか。		

質 問 順 位	1 4	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
		2. 1人当たりの報償年額は管理戸数により定められているが、①どの程度か②市営住宅、道営住宅の総額はいくらか。		
		3. 職員である市営住宅監理員の職務を補助させるため、市営住宅管理人を置くことができる。しかし、実質的に職務が行われていない場合、入居者や自治会役員との確執の元ともなっている。①配置をやめることや②職務を実行できるような改善が必要ではないのか。		
3. 建設行政	1. 平成橋の建設経過とこれまでの管理費用について	1. 1997年に供用開始した平成橋は、長さ 638mの市道最大の橋です。①石狩川を渡河するような橋を市道として、新十津川町とともに建設した経過②総建設費と市負担総額③起債償還残額④新十津川町の建設費負担額⑤供用開始後の維持管理費総額と通常の維持管理費年額について伺います。		
	2. 平成橋の維持・修繕費用について	1. 市は2012年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定した。平成橋について①これまでにかかった修繕費②2017年度予定の伸縮装置取り換え費用③国道橋、道道橋で行われている柵の強化工事は必要なのか、あるとすればその費用見込みについて伺います。		

質 問 順 位	1 4	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
		2．今後60年間に126橋の修繕・架替え事業費見込みは60億円と試算した。平成橋は架け替えも含め試算の金額は。		
	3．道道昇格要望について	1．市は、(仮) 赤平・滝川・新十津川線の道道昇格を、北海道へ要望活動を実施している。目的は、赤平市、新十津川町とともに、同一の生活・経済圏である3市町を広域に結ぶ重要路線として道道昇格を目指すとしている。①現在の市道部分の維持管理費の年額②道道昇格については、平成橋建設時から道との間であったのか③昇格のポイントは、橋の修繕・将来の架け替えとJR線の跨線橋にかかる経費であると思う。人口減少、道財政悪化の中で、適切な要望といえるのか。		
4．市民生活行政	1．買い物対策について	1．6月議会で私は、買い物対策について取り上げ、「滝の川、扇町、泉町に続く要請として空知町、中島町方面の9町内会から陳情が出ました。どの地区も高齢化と交通利便性で歩いていける店舗を求めているが、市の取り組み経過と出店に際しての優遇措置の検討状況など」を質問した。引き続き質問になるが、経産省は、平成24年度補正予算で「地域自立型買い物弱者対策支援事業」（補助率2／3、上限1億円、2月1日から6月27日まで3次にわたり募集、道内で14件採択、ほとんどが移動店舗）を実施した。そのうち札幌市北丘珠では4,600人の地域にミニスーパーが採択された。総事業費1億円で約65坪を建て替えし、生鮮3品が中心。事業者は（株）東和システム（札幌、スーパー1店、回転寿司、居酒屋など14店経営）。イオンなど超大型系列以外の進出が望まれるが、①国の補助制度要望②同ミニスーパーの出店経過を参考とし、当市での実現に向けての政策づくりの考えがあるか伺います。		

質 問 順 位	1 4	質 問 者	清 水 雅 人 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
5. 福祉行政	1. 福祉灯油について	1. 市は2007年度、08年度に、福祉灯油を実施した。2008年度の助成額は1世帯4,000円で、対象2,173世帯に対し1,938世帯、交付率は89.19%、財源は道の「福祉灯油特別対策事業補助金」補助率2分の1を使った。これに対し昨年度も100円を超す暴騰になりながら、道の助成額が低いことを理由に市は実施しなかった。この冬も100円を超える情勢の中、①道に2007・08年度並みの補助制度を求めていくこと②道が実施しない場合でも実施できるよう基金を設置するなど独自の財源対策を行うことについて伺います。		
6. 教育行政	1. 各パークゴルフ場の建設費について	1. 市民自慢のパークゴルフ場について日本共産党は、3月市議会でも新施設建設の実施設設計委託費に、意見を付して賛成しました。健康増進目的と、愛好者の要望が強く、優先順位は高いと判断しています。問題は、多くの市民が利用できる施設にすることと、既存施設の存続です。そこで、既存の各パークゴルフ場の建設年度と建設費総額について、これまで執行した予算をムダにしないという観点で伺います。		